

臨床心理学

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：講 義

単 位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：現代社会において「こころのケア」が必要とされる場面が増加しており、それに伴って医療、産業、教育、司法など多様な支援場面で臨床心理業務が重要視されてきている。しかし、実際に心のケアがどのように行われているのかは、看護師など関連業種の間でも意外と知られていない。そこで、講義では臨床場面における心理療法のいくつかを紹介することを中心にして、自分自身の心をマネジメントする演習にも取り組んでみたい。さらに、臨床心理学にも看護学にも共通して必要とされる自分の内面を掘り下げることの重要性にも言及する。講義を通して、臨床心理士の機能を理解し、医療現場でのチーム医療にも役立てていくことも期待したい。

■**到達目標**：①臨床心理学的アプローチの視点や技術を体験的に理解する。
②臨床心理業務を理解する。
③臨床心理学の考え方を看護に応用するための基礎を理解する。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎守村 洋・菊池 浩光

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション・心理学と看護学との関係
- 第 2 回 社会ニーズと臨床心理
- 第 3 回 科学の知と神話の知
- 第 4 回 心理療法の実際1 認知を変える
- 第 5 回 心理療法の実際2 ト라우マティック・ストレスへの対応
- 第 6 回 心理療法の実際3 イメージの力
- 第 7 回 自分を知ることの大切さ
- 第 8 回 看護に応用される臨床心理学

■**教科書**：特に使用せずプリント等を配布する

■**参考文献**：『心理療法序説』（河合隼雄著、岩波書店）
『ユング心理学入門』（河合隼雄著、培風館）
『よくわかる臨床心理学 [改訂新版]』（ミネルヴァ書房）

■**成績評価基準と方法**：出席20% 定期試験80%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎		80%
出席	○	○	○	1回出席につき2.5%×8回	20%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず(減点対象)

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：心理学および臨床心理学の知見は、長い間看護に応用されてきています。人間とは、人生とは、病気とは、といった幅広い視野や、「人はどのように癒されていくのだろう」といった問題意識を抱き、人間理解や自分理解、そして実際の業務に役立ててほしいと思います。